

2016年3月期 決算説明会説明資料

2016年5月10日
株式会社 ドリームインキュベータ
(証券コード 4310)

The logo consists of the letters 'DI' in a white, serif font, centered within a dark blue square background.

DI

2016年3月期決算概況

各事業の状況

コンサルティング事業*

×

インキュベーション事業

戦略コンサルティング

プロデュース支援

M&A支援
(ファイナンシャル・アドバイザー)

経営幹部育成支援

営業投資*

保 険*

その他*

期末サマリー

- 連結売上高 126億円
- 当期純利益 4億円
 - コンサルティング事業が過去最高
 - インキュベーション事業は2社IPOしたが、1社が翌期にずれ込む。保険セグメントは堅調
 - ベトナムでの投資先1社の時価下落に伴う減損計上（第2四半期）

2017年3月期見通し

- コンサルティング事業は継続成長
- IPOは複数社を見込む

2016年3月期 連結P/L

(単位：百万円)	2015年3月期	2016年3月期	増減率
コンサルティング事業（セグメント）	2,504	2,667	7%
インキュベーション事業	10,838	10,024	-8%
（営業投資セグメント	3,671	703	-81%
保険セグメント	6,363	8,126	28%
その他セグメント	803	1,193	49%
売上高合計	13,343	12,691	-5%
コンサルティング事業（セグメント）	1,288	1,439	12%
インキュベーション事業	1,153	208	-82%
（営業投資セグメント	2,577	▲ 148	-
保険セグメント	▲ 1,046	157	-
その他セグメント	▲ 378	199	-
セグメント損益合計	2,442	1,647	-33%
本社費	1,093	1,109	1%
営業利益	1,348	538	-60%
経常利益	1,373	525	-62%
親会社株主に帰属する当期純利益	993	420	-58%

注：金額の表示単位未満は切り捨て。その他セグメントには売却したアセットリクイゼーション、知的財産権セグメント含む

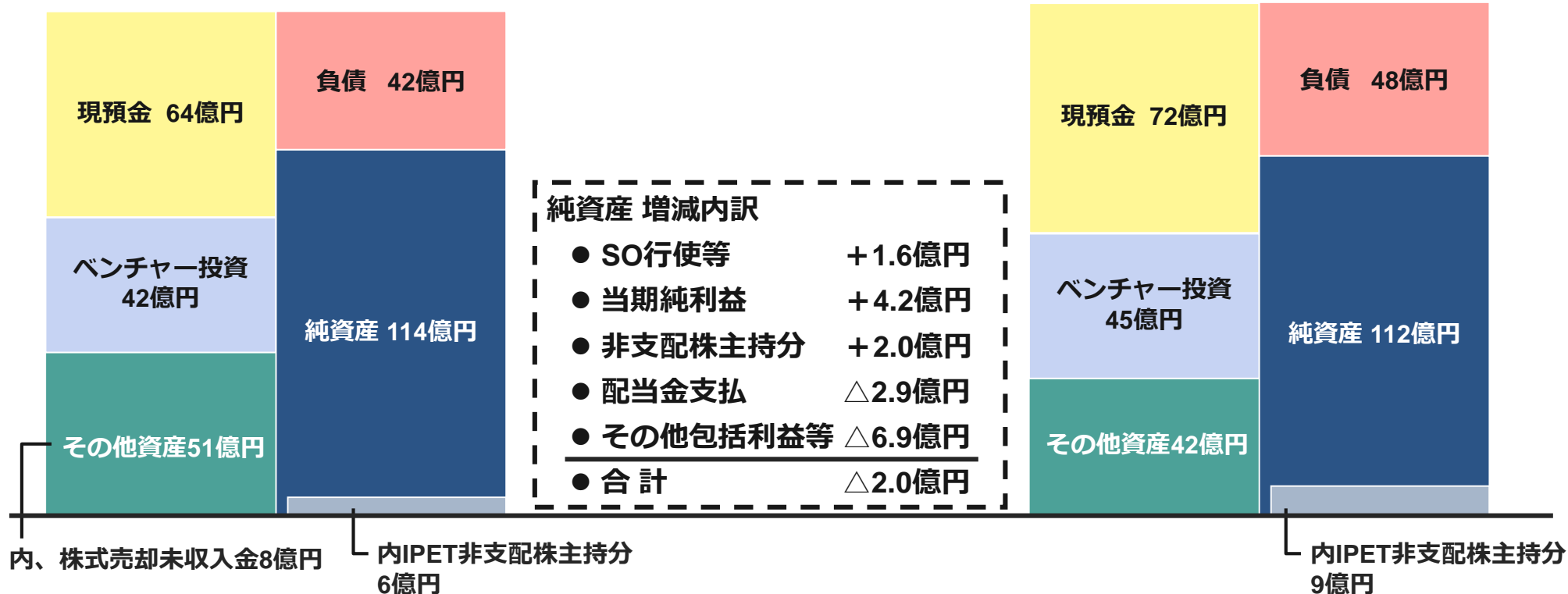
2016年3月期 セグメント損益前年対比

(損益額：億円)	2015年3月期	2016年3月期	増減理由
コンサル	12.8	14.3	売上高成長に伴う収益向上
		+1.5	
営業投資	25.7	▲1.4	2015年3月期：多額の含み益を実現 2016年3月期：2社IPOしたが、他1社が翌期にずれ込む。1社減損
		▲27.2	
保険	▲10.4	1.5	2015年3月期：保険業法113条繰延資産13.6億円を一括償却
		+12.0	
その他	▲3.7	1.9	アセットリクイデーション：売却による損失減 2.5億円 知的財産権：売却による増益 3.7億円 マーケティング他：先行投資による費用増 ▲0.5億円
		+5.7	
合計	24.4	16.4	
		▲7.9	

2016年3月期 連結B/S

2015年3月末
(総資産：157億円)

2016年3月末
(総資産：161億円)



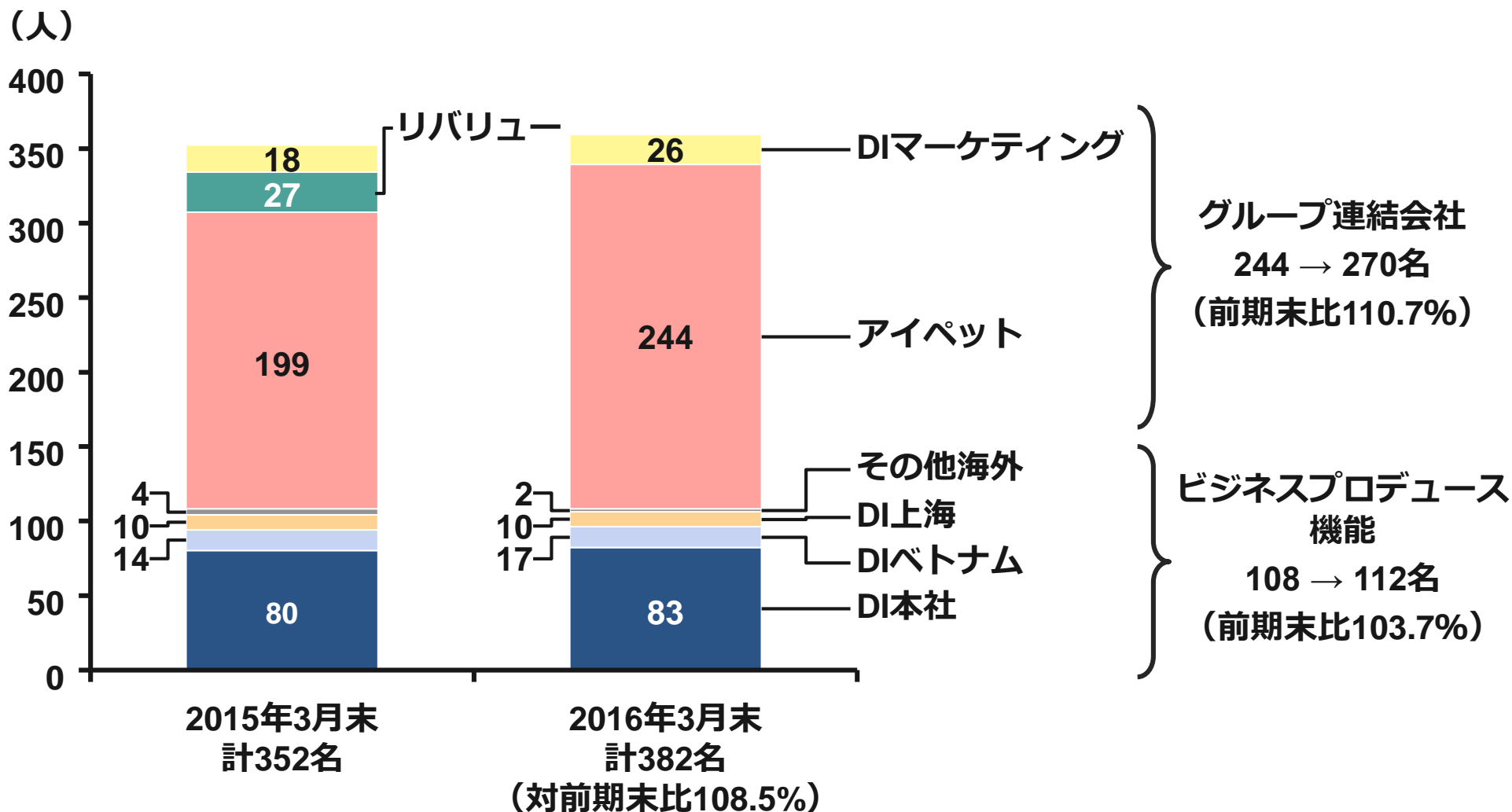
注： 金額の表示単位未満は切り捨て

2016年3月期 連結C/F

科目	金額	内訳
コンサルティング収入	24.2 億円	
保険料収入	79.2 億円	
営業投資収入	15.3 億円	
その他収入	12.4 億円	TGC商標権売却
収入合計	131.2 億円	
固定費等	▲ 103.4 億円	
営業投資有価証券取得	▲ 18.6 億円	
支出合計	▲ 122.1 億円	
営業 C / F	9.0 億円	
固定資産取得	▲ 0.8 億円	
その他収入	1.5 億円	
投資 C / F	0.7 億円	
配当金の支払	▲ 2.9 億円	
非支配株主への分配金	▲ 3.2 億円	TGC商標権売却による分配金
子会社における第三者割当増資	5.0 億円	
その他収入	0.8 億円	
財務 C / F	▲ 0.3 億円	
外貨換算差額	▲ 0.2 億円	
連結除外による影響	▲ 0.8 億円	DIシンガポール
C / F 合計	8.3 億円	

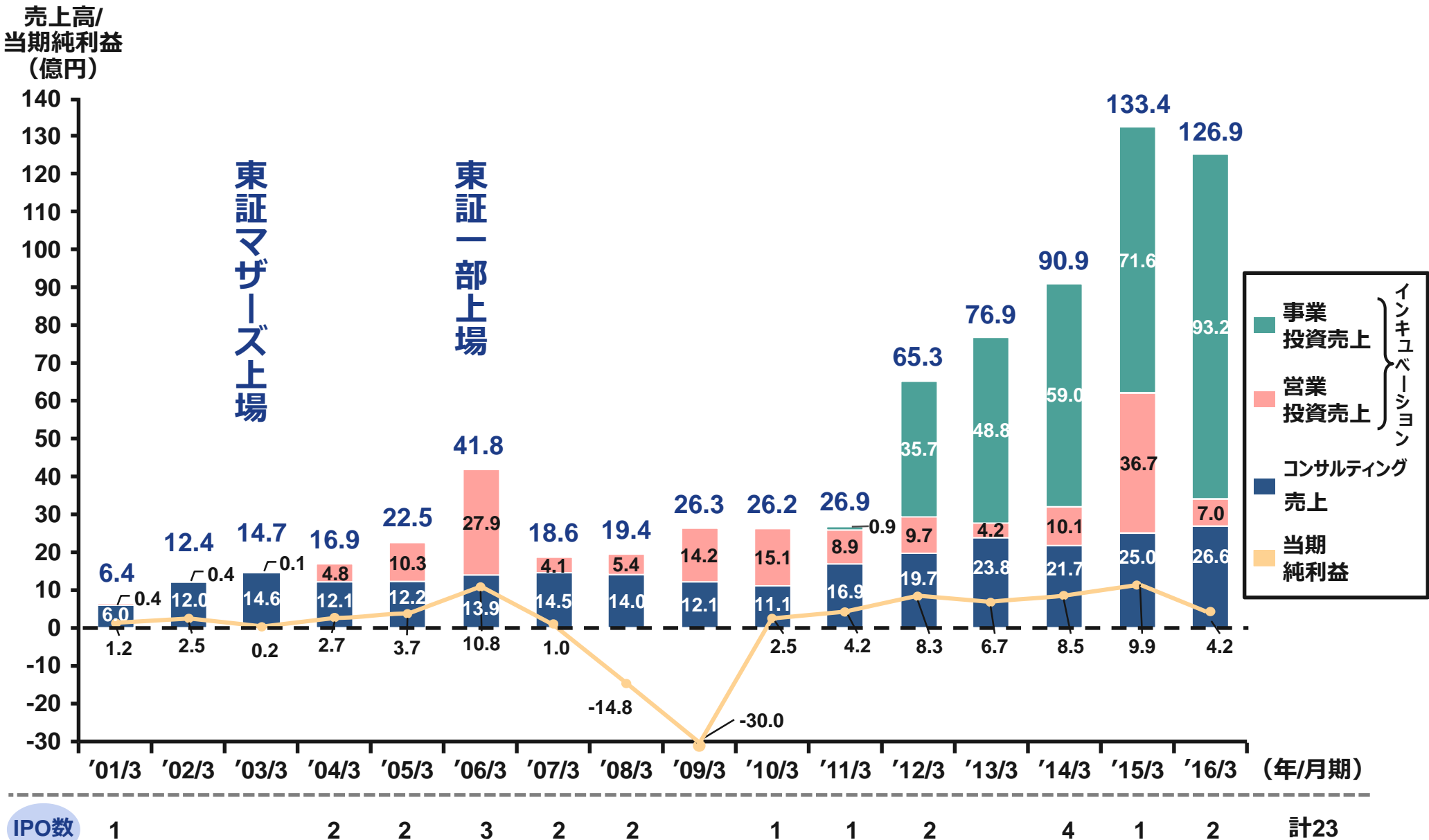
注： 金額の表示単位未満は切り捨て

連結従業員数



注： 各内訳人数は勤務地ベース（取締役、監査役を除く）、
3月末日退職者を含む

連結業績推移

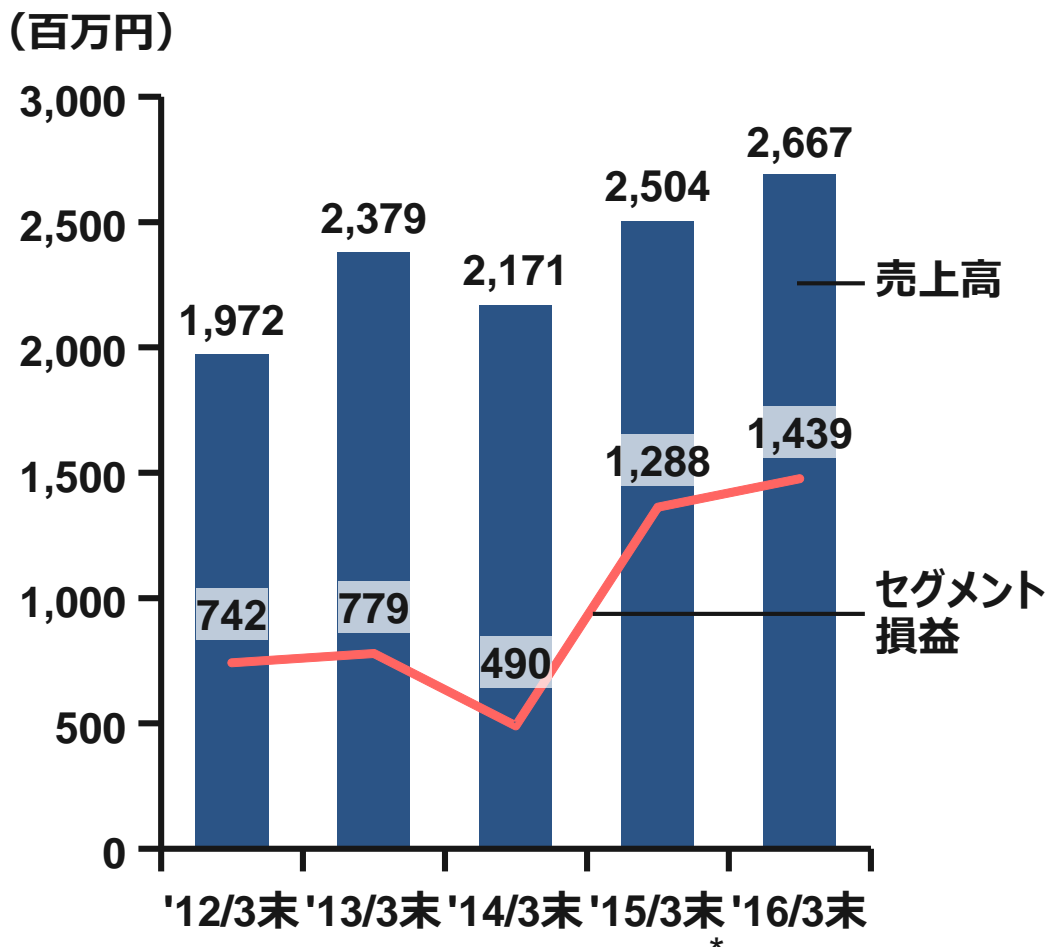


2016年3月期決算概況

各事業の状況

コンサルティング事業（セグメント）

業績推移



注* 金額の表示単位未満は切り捨て
セグメント損益の算定方法変更

取組状況

売上高が対前年同期比で7%増加

- 上期の出遅れを下期に挽回し、過去最高を達成
- 実行支援型が増加し、プロジェクトが大型化・長期化

主なプロジェクトテーマ

- 新規事業・成長戦略
- 新産業創出支援
- R&D・技術戦略
- 海外展開支援
- ビジョン・中期経営計画
- M&Aアドバイザー
- 幹部人材育成

顧客概要

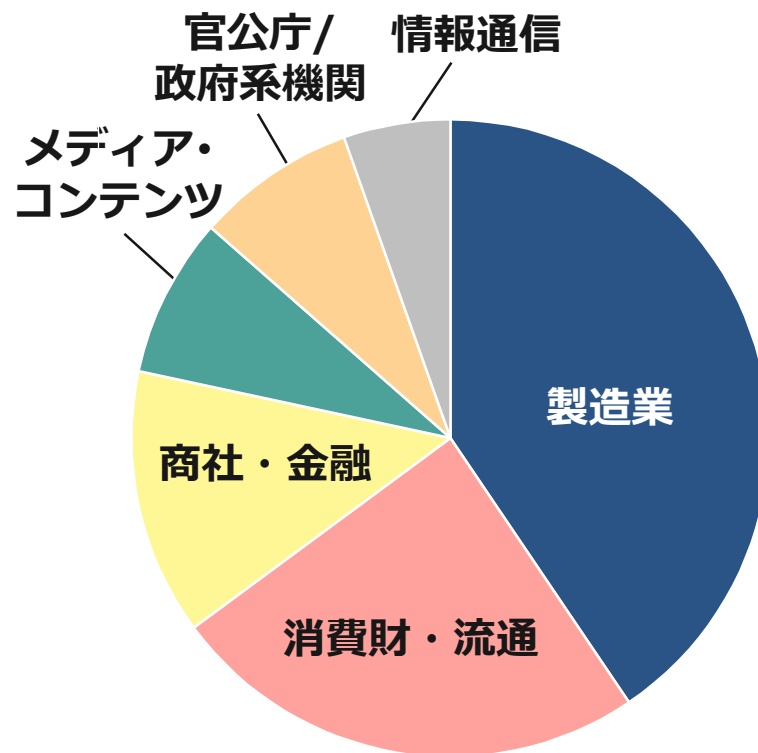
顧客の規模

経常利益

業界*順位 (企業数**)

	業界*順位 (企業数**)			
	1位	2位	3位	4位以下
5,000億円以上	3			
1,000~5,000億円	2	2		3
500~1,000億円	2			3
100~500億円	4	2		1
100億円未満	2			7
合計	13	4		14
売上高構成比 (%)	62.3	11.6	—	26.1

顧客の業種



* (株)ユーザベース「SPEEDA」の業界小分類に基づき、顧客業界を分類
 ** FA事業、教育事業、海外事業の顧客企業を含む（但し、非営利団体、ベンチャー、ブティック系ファーム等を除く）

前期の振り返り

戦略コンサル/プロデュース支援

プロジェクトが大型化・長期化

- 「本丸」プロジェクトの増加

プロジェクトのグローバル化

- メーカーのシリコンバレー研究所の設立支援
- 海外政府の産業政策立案と実行のプロデュース 等

付加価値に「デザイン」を追加

- 株式会社ライトパブリシティと提携
 - 日本初の広告デザイン会社
代表取締役社長 杉山 恒太郎

M&A

クロスボーダーM&Aにおける強みを確立

- 「インド、東南アジア」×「産業財」
- 更に「デジタルメディア」を今後強化

(前期支援実績)

- 東ソー社
 - 体外診断薬製造販売会社Lilac Medicare社（インド）の買収支援
- 高砂熱学工業社
 - 病院等のクリーンルーム向け関連機器の製造・販売・取付会社 Integrated Cleanroom Technologies社（インド）の株式取得支援

ビジネスプロデュース例：ラムドン省農業発展支援

農業開発戦略策定

- 国際協力機構（JICA）より、ラムドン省の農林水産業及び関連産業集積化に係る情報収集・確認調査を受託（日本工営・コーエイ総合研究所と共同受託）
- 「日越国家間農業連携」のモデルプロジェクト



ブランディング戦略策定

- JICAより、ラムドン省の農作物のブランディング・プロモーション戦略策定に係る情報収集・確認調査を受託（電通・ライトパブリシティと共同受託）
- 「戦略 × クリエイティブ × デザイン」



ビジネスプロデュースの啓蒙活動（1/2）

次世代CTOが集う「CTO30会議」（日経BP主催）の実行を支援

概要

- 次世代CTO（最高技術責任者）を対象に有識者講演や事例研究を通じて、技術経営を議論
- DIはプログラムの作成、講師選定及びファシリテーション等の実行を支援

日本の技術をビジネスにつなげる

CTO30会議

- ▶ 技術だけでなく、経営環境や国際ビジネスの最新の動向・知見・経験を知る
- ▶ イノベーションの生まれる組織づくりについて、事例を知る
- ▶ 経営視点での技術戦略について、成功・失敗のポイントを整理する
- ▶ 技術開発における選択と集中、技術者育成の体制づくりなどの事例を知る
- ▶ 将来のCTO (Chief Technology Officer) とのネットワークをつくる

招聘予定の講師陣（DI除く）*

オムロン	宮田 喜一郎	常務
コニカミノルタ	松崎正年	取締役会議長
コマツ	野路 國夫	会長
GEグローバル・リサーチ	浅倉 眞司	日本代表
ストラタシスジャパン	片山 浩晶	社長
ダナハー	山守 康夫	Vice President
東京大学 政策ビジョン研究センター		
	小川 紘一	シニア・リサーチャー
東レ	阿部 晃一	副社長
日鉄住金総研	山藤 康夫	研究主幹
パナソニック	宮部 義幸	専務
日立製作所	市川 芳明	主管技師長
富士フイルム	戸田 雄三	専務

ビジネスプロデュースの啓蒙活動 (2/2)

「AI（人工知能）はあなたのビジネスをどう変えるか」

概要

日時： 2016年 7月 13日（水）

参加者： 定員100名

プログラム：

- 基調講演①：マサチューセッツ工科大学CSAIL所長 Dr. Daniela Rus
「AI技術の動向と社会への影響（仮）」
- 基調講演②：DI 堀 紘一
「世界の先端技術を自社にどう取り込むか」
- パネルディスカッション：
「日本企業はどうAI技術とつきあうべきか」
(パネリスト)
 - 右記3名ほか、海外より見識者を招聘予定
 - DI 山川 隆義
(モデレータ)
 - 日本経済新聞社 編集委員 村山 恵一

パネリスト抜粋



マサチューセッツ
工科大学 CSAIL所長
Dr. Daniela Rus



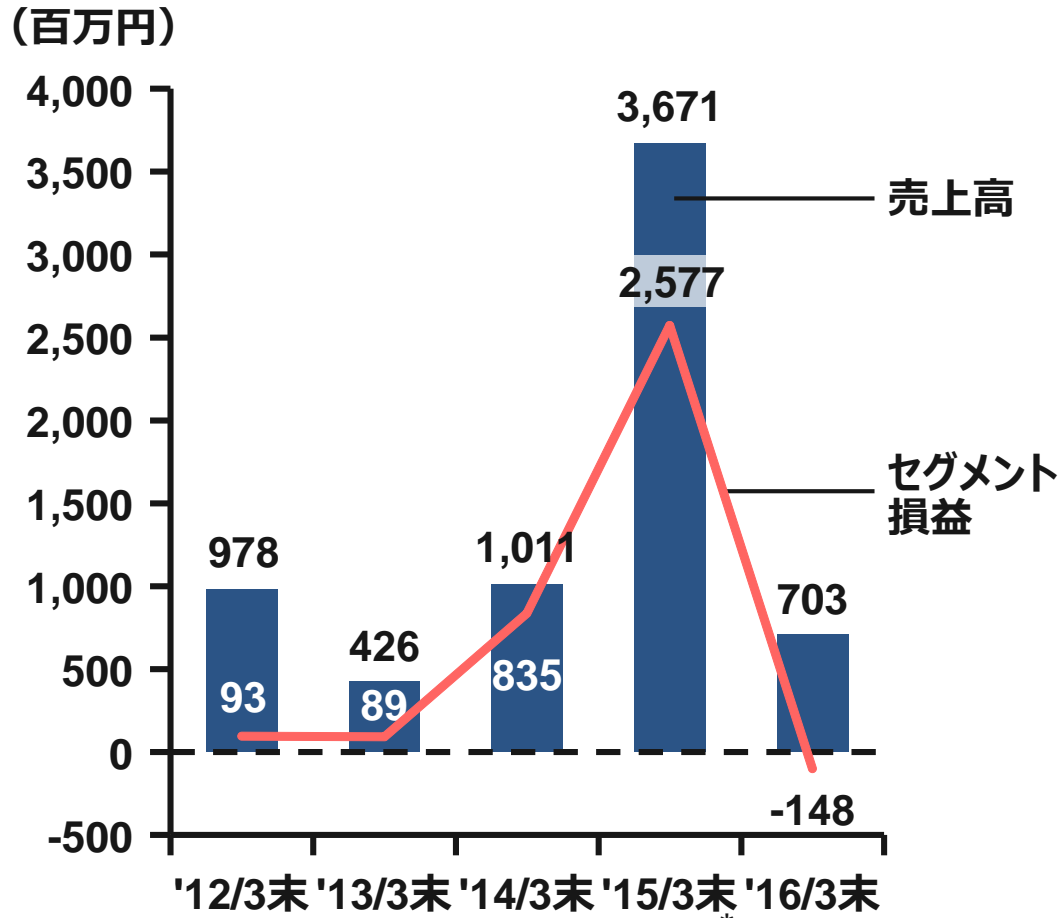
ペンシルベニア大学
工学・応用科学学部長/
DI戦略アドバイザー
Dr. Vijay Kumar



経済産業省
経済産業政策局
産業再生課長
井上 博雄

インキュベーション事業 (1) 営業投資セグメント

業績推移



取組状況

主要ポートフォリオ (百万円) **

- IT・メディア 1,732 (7社)
- サービス 1,195 (8社)
- 環境・エネルギー 12 (2社)
- ロボティクス 30 (1社)
- その他 900 (3社)

合計 3,871 (21社)

投資 ** 8社

- 新規5社、追加2社、S/O行使1社

IPO 2社

- ロゼッタ、マイネット

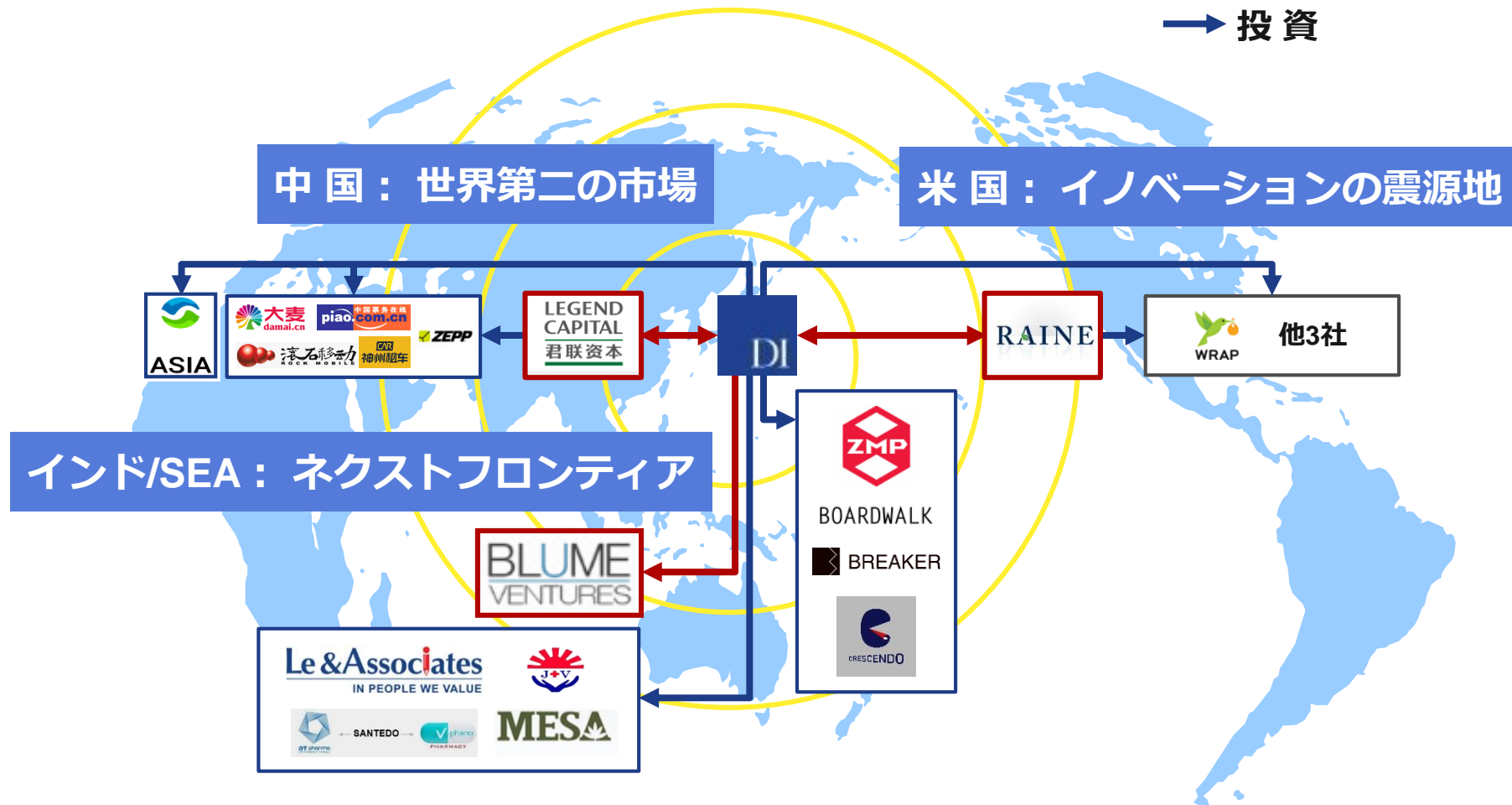
減損 1社

* セグメント損益の算定方法変更
 ** 簿価200万円以上のプリンシパル投資先のみ (金額は簿価)

世界のイノベーションを捕捉し、現地有力VCと共同投資育成

四極展開：日本 + 米国・中国・インド

↔ 戦略的パートナーシップ
→ 投資



USA・中国・インドの有力VCと戦略的パートナーシップを構築

各国の戦略的提携VC

米国

RAINE

<デジタルメディアに特化したVC>

創業者はメディア専門の投資銀行家



Goldman Sachs
元上級パートナー



UBS
元副会長

巨大メディアの創業者達が顧問団を構成



WME-IMG



MTV



Netscape

代表的な投資先 (括弧内は共同投資家)



(KPCB)



(21st Century Fox)
(Google)



(Goldman Sachs)



(PayPal)



(Andreessen Horowitz)
(Comcast)



(Yuri Milner)

中国

LEGEND
CAPITAL
君联资本

<中国の大手民間企業傘下のVC>

創業者はIT業界で約30年の経験を保有



Legend Holdingsの取締役社長、Lenovo Group
の非常勤取締役を兼務



280社超に投資。内、IPO43社+M&A40社

 (0299.HK) 2004/04/30	 (2028.HK) 2005/06/29	 (NASDAQ: SOLF) 2006/12/20	 (NASDAQ: SPRD) 2007/06/27	 (02002.HK) 2007/12/12	 (NYSE: VTI) 2007/12/21	 (0117.HK) 2007/12/21
 (002230.SZ) 2008/05/12	 (002291.SZ) 2009/09/23	 (1968.HK) 2009/09/29	 (NASDAQ: FTNT) 2009/11/18	 (300948.SZ) 2010/01/20	 (002373.SZ) 2010/03/18	 (NASDAQ: AMAP) 2010/07/01
 (NYSE: BITA) 2010/11/17	 (002565.SZ) 2011/03/18	 (NYSE: RENN) 2011/05/04	 (4866.TWQ) 2011/09/13	 (002635.SZ) 2011/11/25	 (601336.SZ) 2011/11/16	 (00836.HK) 2013/06/13

China Venture 投資年会にて受賞多数

- 最優秀革新投資者
- 最優秀投資業務実行者
- 最優秀Value-added service実行者
- TMT・消費財部最優秀パフォーマンス

インド

BLUME
VENTURES

<インド最大手のアーリーステージVC>

創業者はTMT業界で15年超の経験を保有



両名とも、Mumbai Angels (インドのエンジェル
投資家ネットワーク) の元メンバー



投資件数は、著名欧米VCを抑えてトップ

India's Most Active Tech VCs Since 2009

Rank	Investor
1	Blume Ventures
2	Accel Partners
3	Sequoia Capital India
4	Intel Capital
5	Helion Venture Partners

(CBInsights)

最近のExit実績

- TaxiForSure : Ola (インド版Uber、SoftBank投資先) に売却
- Zipdial : Twitterに売却
- Framebench : Freshdeskに売却
- 1Click : 同上

戦略投資領域①：デジタルメディア

スマートフォンが爆発的に普及



全てのものが“つながる”時代に

代表的な投資実績

	投資先企業	共同投資家
日本	BOARDWALK 電子チケット 	dentsu docomo iSiD IT Solution Innovator
USA	WRAP スマートフォン用ブラウザ 	RAINE FF Angel LLC salesforce ventures ProSiebenSat.1 Media SE Transmedia Capital
中国	EDA デジタルコンテンツ管理 	fastforward D F R

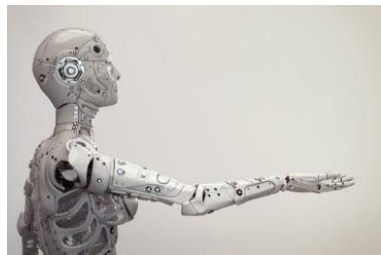
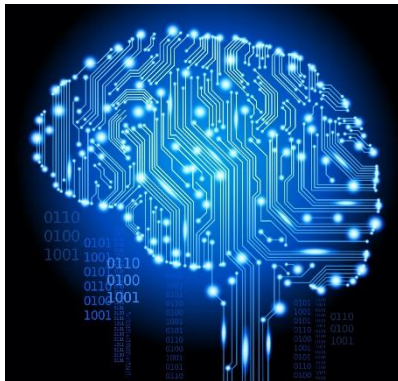
著名グローバルVCとの“クラブディール”

デジタルメディア領域の主な取り組み

発表時期	展開国	概要
'12年2月	日本	東京ガールズコレクション等の知的財産権を管理する日本知財ファンド1号に出資
'13年6月	日本	オフィスクレッシェンド株式会社に出資
'13年10月	日本	ブレイカー株式会社に出資
'14年1月	ベトナム	アライドアーキテクツ株式会社と連携し、ベトナム市場向SNSプロモーション事業参入
'14年2月	日本	投資先である株式会社ディー・エル・イーの株式上場が承認
'14年6月	日本	特別顧問に丸山茂雄氏、三枝成彰氏、秋元康氏を招聘
'14年7月	米国	Siemer Summitへの登壇、スタートアップコンテストのWaveMaker Awardにおいて、社長の山川隆義が唯一の日本人として審査員に選任
'14年8月	中国	Entertainment Direct Asia Ltd. (EDA) へ出資
'14年11月	米国	The Raine Group LLCと戦略的業務提携、同社運営のファンドにも出資
'14年12月	日本	オフィスクレッシェンド株式会社に追加出資
'15年4月	タイ	アライドアーキテクツ株式会社と連携し、タイ市場向けSNSプロモーション事業に参入
'15年7月	日本	東京ガールズコレクションの商標権を株式会社ディー・エル・イーに譲渡
'15年9月	日本	WrapMedia,LLCに出資
'15年9月	日本	株式会社ボードウォークへ出資
'15年11月	日本	投資先の株式会社マイネットの株式上場が承認
'16年1月	中国	EDAに追加出資
'16年2月	インド	Blume Ventureと戦略的業務提携、同社運営ファンドにも出資
'16年3月	日本	WrapMedia,LLCへの追加投資及び戦略的パートナーシップの締結

戦略投資領域②：AI・ロボティクス・IoT

AIが人間の機能を代替し、社会に浸透中



この画像または動画は、Shutterstock.comのライセンス許諾により使用しています

代表的な投資実績

投資先企業

共同投資家



ロボット・ロボカー



ZMPと資本提携

日本



AI型機械翻訳

DIがリードインベスター

- 2005年12月に投資
持株比率7.3%
(上場承認時)
- 成長戦略を立案し、
ハンズオンで支援

USA

社名非公開
(ロボティクス)

シリコンバレーの老舗VC

中国



スポーツIoTデバイス



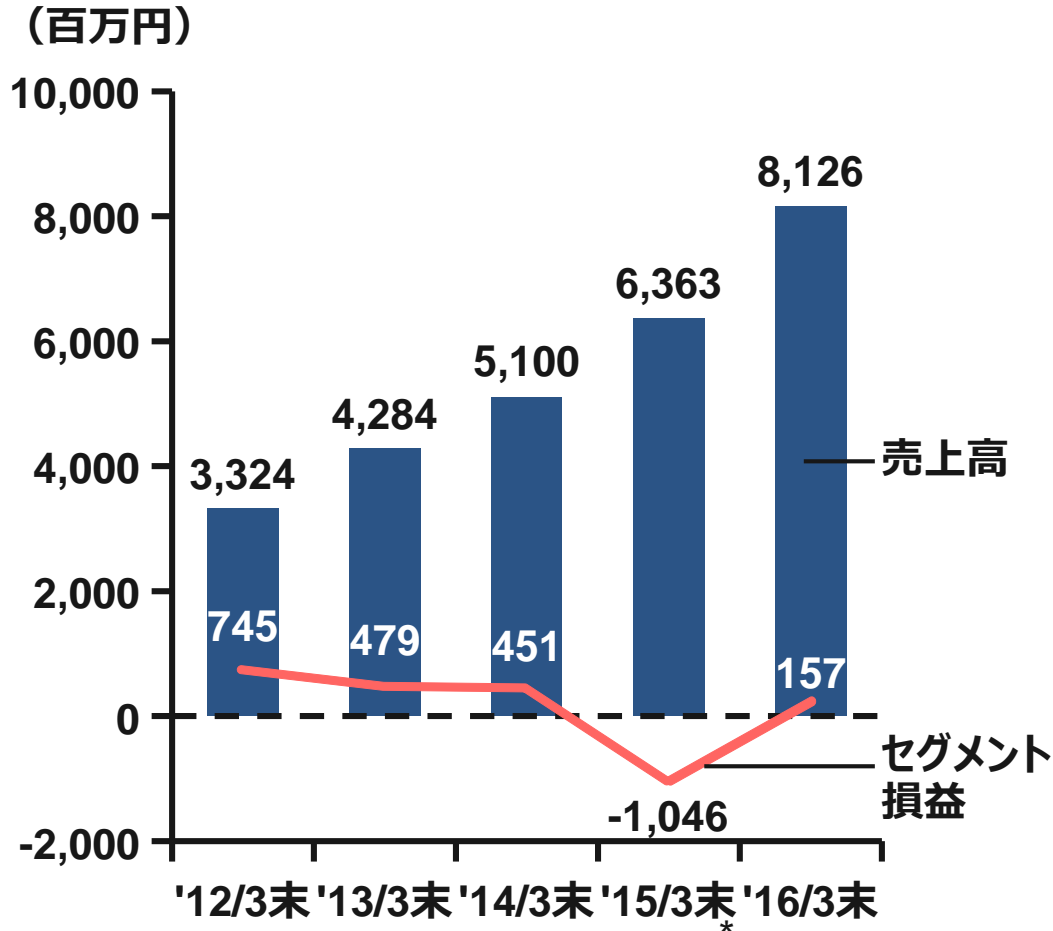
BERTELSMANN

CHERUBIC VENTURES

今後、グローバルで投資を加速

インキュベーション事業 (2) 保険セグメント(アイペット)

業績推移



注* 金額の表示単位未満は切り捨て
セグメント損益の算定方法変更

取組状況

売上高は順調な伸び (対前年同期比28%増加)

セグメント損益は増益

- 保険業法113条繰延資産の影響 : +13.6億円
 - 前期に一括償却
- 責任準備金繰入の影響 : ▲3.9億円
 - 売上高の成長に比べ、費用を抑制した結果、責任準備金は積み増し傾向 (初年度収支残方式の影響)

IPOへ向けた準備中



総合
powered by Kakaku.com insurance

インキュベーション事業 (3) デジタルマーケティング(DI Marketing)

概要

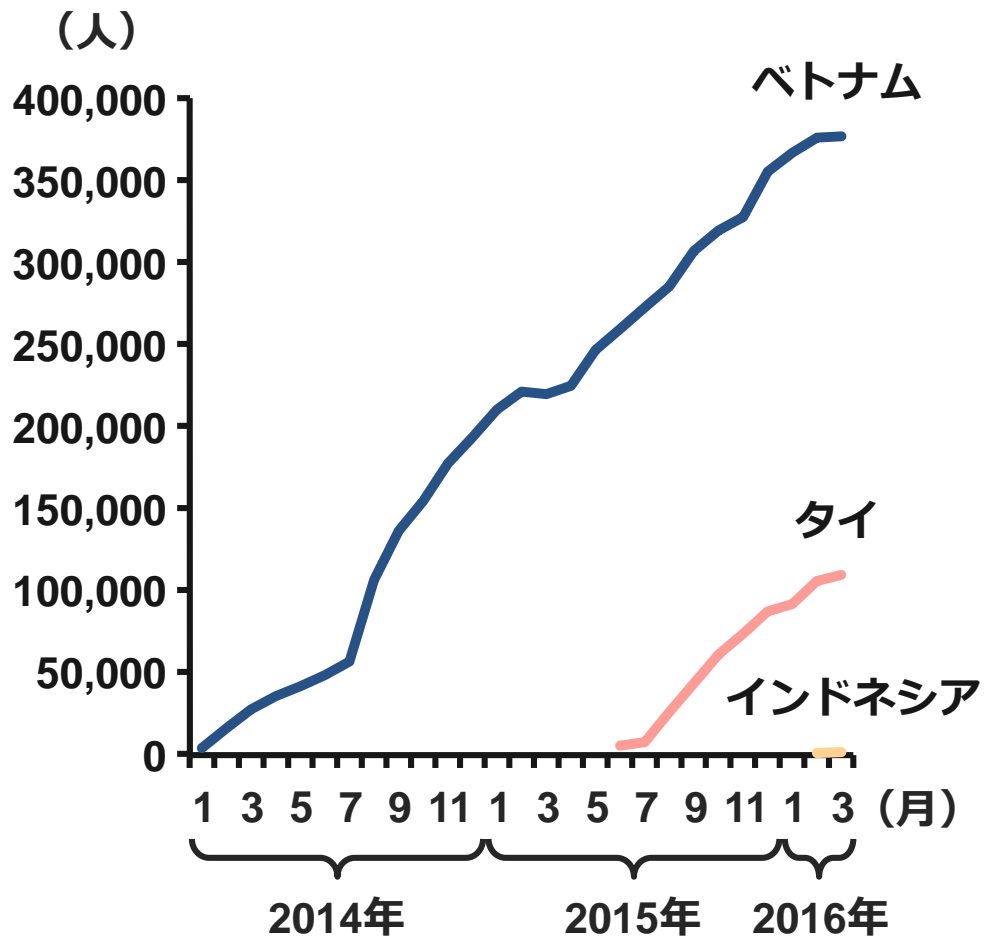
東南アジアにおける「ユーザデータを活用したデジタルマーケティング」を提供

- Facebookマーケティング
- オンラインサーベイ

- 2014年1月 ベトナム市場向け参入
- 2015年4月 タイ市場向け参入
- 2015年8月 オンラインサーベイ開始
- 2016年1月 インドネシア市場向け参入



会員数推移





2016年4月8日
タイにおける女性用の顔用保湿ケア商品市場



2016年3月28日
ベトナムにおける女性用デオドラント剤市場



2016年3月26日
ベトナムにおける女性用洗顔料市場



2016年2月17日 2561 Views
ベトナムのeコマース市場



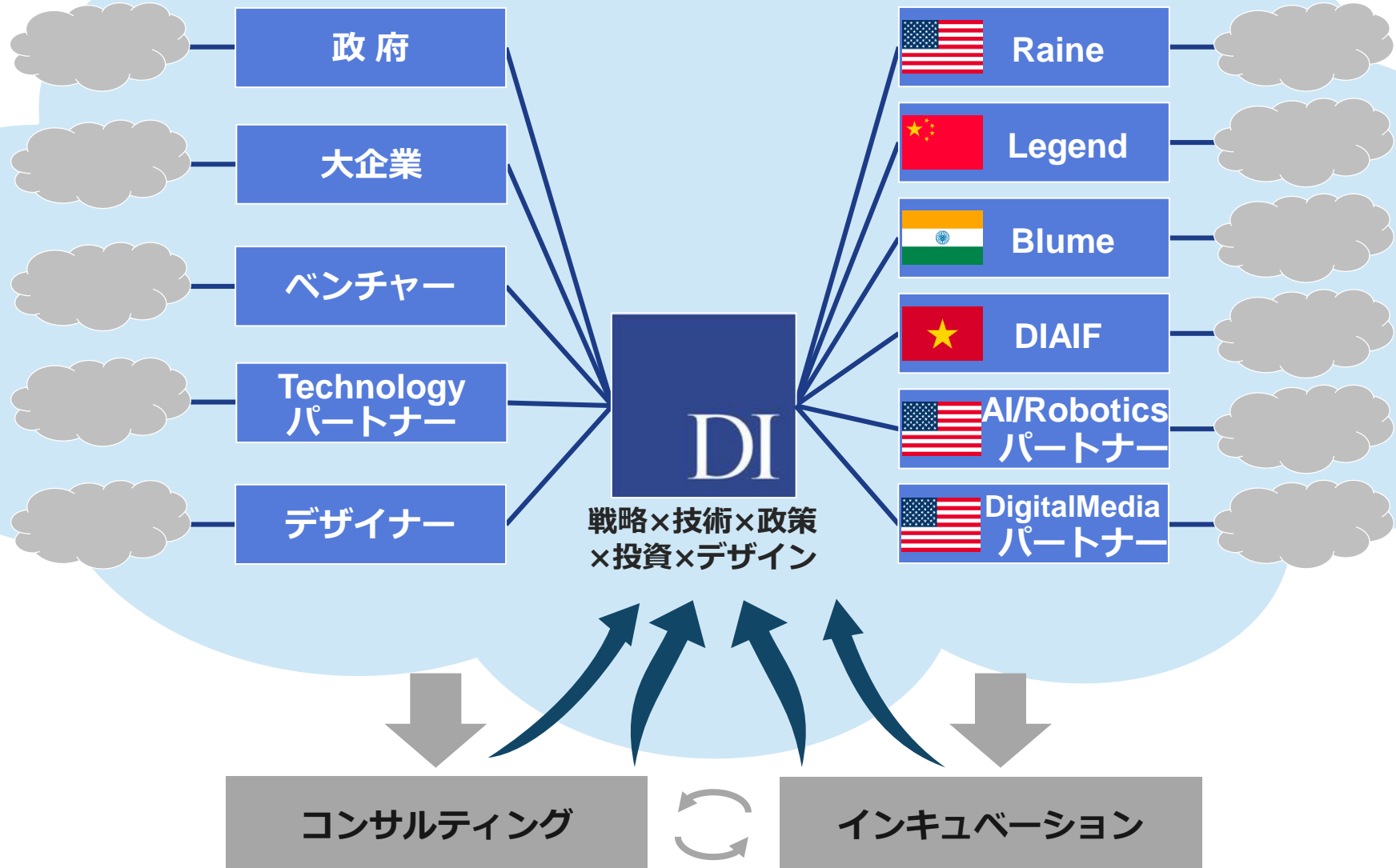
2016年2月17日 1792 Views
ベトナムのコンビニ事情

© DI 2016- ALL RIGHTS RESERVED.



2016年2月17日 2482 Views
ベトナムにおけるスマートフォン利用

DIのエコシステム



コンサルティング事業

- 成長率15%程度

インキュベーション事業

保険セグメント

- 継続成長

その他セグメント

- デジタルマーケティング：
ユーザー総数 100万人到達
- その他事業の仕込み

営業投資セグメント

- IPOは複数社を見込む

<売上高>

前期	当期
119億円*	⇒ 130億円

<売上高合計>
130 + α 億円

<株式売却>

7億円 ⇒ α 億円

* 売却したアセットリレーション、知的財産権セグメント 計11億円を含む

2016年3月期 期末配当金

	2015年3月期	2016年3月期
連結当期純利益	993百万円	420百万円
1株当たり配当	29円00銭	12円00銭
配当性向	29.35%	29.07%

Dream Incubator Inc.